



新元号「令和」にふさわしい 歩みを刻みましょう

社会福祉法人かしの木会くず葉学園
理事長 飯田 雅子



長い日本の歴史の中で、はじめて天皇陛下が退任され、新天皇が即位されるという「皇室典範特例法」の規定に基づいて、新元号「令和」が5月1日幕を明けました。

昭和・平成の時代を生きてきた多くの日本人は、まずは戦争のない時代が73年続いたことに「平和」の安泰と幸せ感を味わってきたと思います。この姿は、「平和国家」を目指した国づくりに入っの経緯の賜としての現在があることは、国民としての周知であろうと思います。

ならば、「令和」の時代のこれからは、どのように歩めばよいのでしょうか？

元号「令和」の由来は、出典は万葉集「梅花の歌」にあり、日本の古典から選定されたのは初めてのこと。そして、安倍首相は次のように語られました。「悠久の歴史と香高き文化、四季折々の美しい自然、こうした日本の国柄をしっかりと次の時代へと引き継いでいく。厳しい寒さの後に春の訪れを告げ、見事に咲き誇る梅の花のように、一人ひとりの日本人が、明日への希望とともにそれぞれの花を大きく咲かせることができる、そうした日本でありたいとの願いを込めた」と。

「令和」の幕明けは、現時代の現実即した改革を含

んだ節目にもなるように思います。徐々に培われてきた「一人ひとりが尊重される社会」「自由と努力が活かされる道」への歩みの経過があります。それは認めながらも一人ひとりと扱われる「自分」に焦点が偏りすぎてきてはいないか？の点が気になります。

「自分を大切にし、自分の求める道を歩む」ことは大切な生き方ですが、「人間は一人では生きられない」ことも現実です。その意味で、自分を優先しすぎてはいないだろうか？と案ずるのです。共に生きていくという「共生社会」について描いてみないといけないのではないのでしょうか？

人口構成での、「少子高齢化」が確認されています。長寿になることはよろこばしい事柄です。その内容を保障する体制は追いついていません。又、障害のある方やひきこもりになっている方等々の課題も現実です。お互いに自分の今日の事が着目点で、周辺の諸々の事柄には気づいていない（強すぎますが関係ないこととしている）人たちもおられるのではないかと案じてしまいます。お互いに自問自答しておきたいと思います。

新元号に入った時を意識して、一人ひとりが尊重され、共に生きいきと今日を生きる社会づくりに向けての自分の歩み方を考え、広い心を備え健全な歩みを刻みたいと思います。

チャレンジday

スポーツを通して、健康づくりや地域の活性化を図るために、毎年5月の最終水曜日に開催しているチャレンジデー。くず葉学園は今年も参加しました。入所利用者は体育館、通所利用者は野外センターでそれぞれフライングディスク協会の皆様を招き、3種の競技を楽しみました。残念ながら秦野市は今年の実戦相手の秋田市に敗れてしまいましたが、来年こそはという強い思いを胸に、皆様闘志を燃やしていることでしょう。



秦野市 商工まつり

5月25日(土)26日(日)の2日間、恒例の秦野市商工祭りに参加しました。

当日は天候に恵まれ暑さもありましたが、椎茸やお豆腐、織物にペーパークイリング、和紙製品などくず葉学園の製品を元気にアピール！豆腐パートの竹川さんも販売員として大活躍でした。



戸川公園

県立戸川公園の花壇に、今年もお花を植える仕事をいただきました。

今回は「星空」をテーマに、約1,700鉢の花で星や月などを描くように植えました。たくさんのお花がきれいに咲いておりますので、是非ご覧になってください。



第2回 業務実践報告報奨制度による表彰

(平成30年度中における業務実践報告の
応募論文審査結果)

- 金賞** 大久保 洋 志 (通所支援課)
古 家 英 樹 (通所支援課)
「知的障害・精神疾患を有するIさんの承認に焦点を当てた支援実践とその変化～就労継続B型におけるケース検証から～」
- 銀賞** 山 元 友 恵 (入所支援課)
「聴覚障害を併せ持つ高齢知的障害者への支援」
- 銀賞** 笹 本 智 栄 己 (入所支援課)
「重い障害のある方も楽しめる音楽ってステキ！」
- 銀賞** 富 澤 克 佐 (通所支援課)
「就労支援B型の障害者雇用職員と利用者主体による小集団QC活動 ～トイレのカビを無くそう～」
- 銀賞** 絹 谷 浩 司 (通所支援課)
道 川 あ さ み (通所支援課)
「『共感・共育・共生』の理念を実践する～自閉症・行動障害のある人たちのクラス運営～」
- 銅賞** 古 家 奈 美 (入所支援課)
「知的障害者支援施設における利用者の生活の豊かさを求めて支援業務と周辺業務の分業化」

イオン販売

秦野市障害者地域生活支援推進機構主催で毎月11日にイオン秦野店正面入り口で開催している「イオンの日」に4月、6月と参加しました。くず葉学園の製品を楽しみにしてくれているリピーターのお客様が大量で、そうしたうれしい声が毎日の励みとなっています。



新しいワゴン車

社会福祉法人神奈川県共同募金会様から、平成30年度共同募金の配分をいただき、写真の車両を購入いたしました。利用者の送迎や行事などに活用させていただきます。



2019年度(令和元年度)新たな体制にてスタート

今年度のスタートにあたり、行政区分に沿った組織体制に変更しました。

園長	三浦 啓 業務執行理事
副園長	早坂 光 理事
相談支援事業所	井上浩一 所長
障害者支援施設	新保公男 施設長
通所事業所I・II・III	三浦 啓 施設長(兼)

この体制のもと各事業を主体的に実施し、各支援課がくず葉学園としての一体的運営を強く意識してすすめていきます。

評議員会・理事会が開催されました

6月17日評議員会が開催され、平成30年度の決算が承認されました。また、この日で2年間の任期満了となった理事・監事の改選がおこなわれ次のとおり、選任されました。その後の理事会で飯田雅子理事長、三浦啓業務執行理事が再選されました。

理事長	飯田 雅子	理事	町川 智康
業務執行理事	三浦 啓	理事	山崎 俊裕
理事	岩野 正史	監事	相原 學
理事	早坂 光	監事	荒川 裕美子
理事	稲田 良宜		

新入職員の紹介です



入所支援課
やまゆりクラス
佐藤 瑞樹

趣味はバスケットボール、小学生から始め今も続けています。甘い物が大好きでチョコレートは1日中食べていられます。

入職して3か月経ちましたが、いつも楽しく、皆さんからパワーをもらっています。皆さんのお力になれるよう頑張っていきます。



入所支援課
あかしあクラス
君島 一真

小学校では野球、中学高校ではソフトテニス、専門学校ではバスケットボールをしていました。でも、体力には自信がありません。ですが、その少ない体力でも一生懸命頑張る、支援員として大きく成長し、カリスマを目指していきたいと思っています。



入所支援課
さざんかクラス
大舘 清吾

専門学校の際に実習をさせていただき、くず葉学園で働きたくて来ました。学生の頃は野球と陸上をしていたので体力はあります。また、歌うことが大好きです。この若さとパワーで皆さんと楽しく笑顔で過ごしていけるように頑張ります。

Junの
簡単レシピ

野菜とハムの焼きリゾット

血液さらさら

トマトはビタミンCをたっぷりを含み、これは夏野菜ではナンバー1です。また、カロテンも多く、貧血に効果のある鉄分も含み、カルシウムなどのミネラルも約15種含んでいます。ビタミンEも含んでおり、このビタミンは高血圧を予防しコレステロールを抑える働きを持っています。

ズッキーニは、ビタミンK、ビタミンC、葉酸、カリウム、銅が多く含まれています。そして、食物繊維が豊富で、便秘解消に繋がります。トマトもズッキーニも解毒作用があり、血液をきれいにする食材です。

材 料 (2人分)

玄米 (白米を硬めに炊いても良い)	230g (ご飯茶碗1.5杯分)
ズッキーニ	1/2本 (80g)
ハム	4枚 (80g)
トマト	1/2個 (100g)
コーン (缶詰)	大さじ2
粉チーズ	大さじ4
タレの材料	
水	120cc (0.6カップ)
顆粒スープの素	小さじ1.5
オリーブオイル	小さじ1.5

作り方

- ① 炊飯器で玄米を炊いて玄米ご飯を作ります。
- ② ポウルに、水 (120cc)、顆粒スープの素、パージン、オリーブオイルを入れ、混ぜ合わせタレを作ります。
- ③ ズッキーニは、8mm幅の輪切りにして、4等分にします。ハムは、1cmの角切りにします。トマトは、ヘタを切り落とし、種を除いて、1cmの角切りにします。
- ④ 耐熱皿に玄米ご飯を平らに盛り、その上に③の具材とコーンを散らします。
②のタレをまわし入れて、粉チーズを全体にふりかけます。
- ⑤ 220℃のオーブンに入れて、表面に軽く焦げ目が付くように焼けば、出来上がりです。



研修会だより

(7月31日現在)

4月	全職員	理事長講和
	桑原 昭子	高齢者セミナー「排泄ケア」
5月	君島 一馬	新任研修①
	大舘 清吾	新任研修①
	佐藤 瑞樹	新任研修①
	松本潤一郎	障害区分認定調査員研修 相談支援従事者プレ研修
	新保 公男	神奈川県知的障害福祉協会施設長会
	井上 浩一	神奈川県知的障害福祉協会施設長会
	早坂 光	神奈川県知的障害福祉協会施設長会
6月	君島 一馬	新任研修②
	大舘 清吾	新任研修②
	佐藤 瑞樹	新任研修②
	松本潤一郎	実習指導者養成教育
	古家 英樹	神奈川県指定障害者福祉サービス事業 所指導講習会
	和賀 央哲	煙火保安講習会
	井上 浩一	地域移行・地域定着支援研修 「精神障害支援の障がい特性と支援技法」
	全職員研修会	「糸賀一雄氏の映像視聴を通して、対人援助の基本姿勢を学ぶ」
7月	君島 一馬	救命救急講習会
	松本潤一郎	相談支援従事者初任者研修
	古家 英樹	精神障がい者就労支援研修
	三浦 祐介	関東地区知的障害福祉関係者職員研究 神奈川大会

MIMIのカルテから

「いつでも紫外線対策を！」

毎年、この時期になると太陽からの紫外線が気になりますね。そこで、今回は紫外線が人体にどのような影響を与えるのかをご紹介します。

大きく分けて次の二つになります。

【急性のもの】

日焼け、紫外線角膜炎(雪目)、免疫機能低下など。

【慢性のもの】

皮膚では、シワ、シミ、日光黒子、皮膚がん、良性腫瘍、前がん症(日光角化症、悪性黒子)などがあります。目は、白内障の原因の一つとなります。

紫外線は人体に様々な影響をもたらすことが分かっています。

紫外線は一年中降り注いでおり、曇りの日でも晴れの日の半分以上の紫外線を浴びてしまいます。また、室内でも窓ガラスを通り抜けるため、太陽光が入る部屋では影響を受けてしまいます。日傘や帽子も安全とは言いきれず、反射して下や横から紫外線を浴びてしまいます。

しかし、紫外線は悪影響だけではありません。ビタミンDが不足すると、骨粗鬆症、高血圧、糖尿病、心臓病のリスクが高まります。食品からだけでは、ビタミンDが不足しがちとされていますが、紫外線を浴びることで、ビタミンDを体内で合成することができ、その不足を補うことができます。そのため、適度な日光浴も必要となります。

紫外線は、365日、どこでも、気を付けることが重要です。曇りの日や室内でも、日焼けしやすい部位には日焼け止めを塗り、汗をかいたら2~3時間おきに付け直すことも必要です。紫外線はいつでも降り注いでいることを意識し、スキンケアの一部として日焼け止めなどを習慣にすることをお勧めします。

適切な紫外線対策を心がけ、紫外線と付き合い合っていくようにしましょう。

編集後記

今年の天候も異常な長い梅雨。地震もあちらこちらで発生して！令和の語尾のひびきのように、穏やかな年でありたいものです。

リーフ広報委員会